



# 八軒つうしん



## 巻頭言

### 新制七十周年記念事業を 成功させましょう

会長 菅井 茂



平成二十九年正月は穏やかで、元朝参りや初売りには多くの人出で賑わったようです。特に仙台駅の東通路が出来たこともあり、初売りの人の流れが駅中心に変わったとの話を聞きました。また今年の夏には、宮城県で高校生のインターハイと総合文化祭が開催されるといことで、仙台七夕の時期は大いに賑わい景気も良くなるのではないかと思っています。

さて、昨年は嬉しいことが二つありました。その一つが、八軒中学校始まって以来のオリンピック選手が生まれ、リオ五輪に出場したことです。

その人は村山紘太君(旭化成)です。八軒中学校は大いに沸き上がり、同窓会では、彼の出場を讃える垂れ幕を作り体育館前に張り出しました。また学校では壮行会を開催し同窓会や地域の人々も参加し激励しました。彼は陸上競技の五千Mと一万Mに出場しましたが、残念ながら極度の緊張と睡眠不足の為思うような成績は残せませんでした。しかしながら今年正月の「全日本実業団駅伝」では、兄の謙太君ともども旭化成の十八年ぶりの優勝に貢献しました。この村山兄弟が二人して東京五輪に出場し、活躍することを願っています。

もう一つは、一昨年から行われている「八軒中学校区総合防災訓練」です。昨年は十月二十二日(土)に実施しました。

今回は「東北大学災害科学国際研究所」や早稲田大学・山形

大学の先生方が視察にみえ、生徒達の活躍の様子を見て、「この地区のように、地域と学校と保護者が一体となって防災訓練をしているところはない。この八軒中学校区の訓練は先進例である」とのお言葉をいただきました。

ところで、今年の十一月二十三日(木、勤労感謝の日)に「八軒中学校新制七十周年記念式典」を実施します。式典は学校の体育館で行い、事業としては「記念誌」の発行と祝賀会を実施することに決めました。また祝賀会では、八軒中学校の同窓生で世界で活躍しているマジッシャンのタクヤ君に出演してもらうことになっています。

予算としては約五百万円を



体育館前に掲げられた垂れ幕

見込んでいます。については、同窓生の方々に協賛金のご協力をお願い致します。各学年だけでなく個人の協賛や広告協賛もお願いせざるをえませんが、今後の周年事業は三十年後の百周年になります。それを考えると今回何としても成功させたいと思っています。

是非会員皆様のお力添えをよろしくお願い致します。八軒中学校同窓生の力を見せてください。そして後輩に素晴らしい思い出を残しましょう。八軒中学校のさらなる発展のために、皆で力を合わせ「新制七十周年記念式典並びに記念事業」を成功させましょう。

### 平成二十七年代表幹事会

### 平成二十九年代表幹事会と 七十周年記念事業

平成二十七年代表幹事会は、平成二十八年二月五日、八軒中北校舎・視聴覚室において開催されました。

(一頁からの続き)

菅井茂会長をはじめとした同窓会役員・事務局のほか、十回、十一回、十二回、十三回、十七回、二十回、二十二回、二十三回の各回生が出席し、八軒中からは、米澤通徳校長先生、菅野勝紀教頭先生に出席していただきました。

菅井会長の挨拶の後、米澤校長先生から、最近の母校の様子についてお話がありました。

続いて、安達和則事務局長から総会以降の事業・活動について、佐藤徳子副会長から「私の八軒時代」編纂委員会について、永田淳子広報次長から同窓会会報「八軒つうしん」第十一号の発行と今後の配布予定について、それぞれ報告がありました。

その他、木幡淳一庶務担当次長の逝去に伴う執行部役員の補充と平成二十六、二十七年度同窓会入会式の講話について、安達事務局長から説明がありました。協議事項は二点で、一つは平成二十九年度の総会の持ち方、もう一つは八軒中新制七十周年

(創立八十二周年) 記念事業の具体化でした。

平成二十九年度は同窓会役員改選の年に当たっています。八軒中七十周年記念事業の柱である記念式典に合わせて総会を行うのは難しいのではないかと、平成一十三年三月三日開催予定の代表幹事会において役員改選を行う方向が確認されました。

最後に出席の各回生の動きが報告されましたが、詳しくは第二十九回生の佐藤博昭さんが腕を振るう河原町の「つきだてや」に会場を移して語り合いました。



代表幹事会の様子

### 臨時代表幹事会

#### 記念事業の成功に向けて

八軒中新制七十周年(創立八十二周年) 記念事業の具体化に向けて、資金確保のための協賛金、広告への協力を同窓生にお願いすべく、平成二十八年十一月二十三日、八軒中北校舎・視聴覚室において、臨時の代表幹事会が開催されました。

菅井会長をはじめとした同窓会役員・事務局のほか、十回、十一回、十三回、十四回、十七回、十八回、二十回、二十二回、二十三回、三十五回、四十五回の各回生が出席しました。新しい顔ぶれの参加があったことは喜ばしいことでした。

八軒中からは、菅野教頭先生、今年度から同窓会担当となられた鈴木泰先生に出席していただきました。

菅井会長の挨拶の後、菅野教頭先生から、最近の母校の様子についてお話がありました。

平成二十八年三月の代表幹事会以降それぞれ二回開催された記念事業実行委員会や常任委員

会の状況について、安達事務局長から報告があった後、記念事業の具体化について協議しました。

特に、記念事業の資金確保のための協賛金や広告への協力依頼の文案については意見が出され、それを受けて同窓会執行部会で更に検討し、平成二十九年一月十八日開催予定の第四回実行委員会を経て、同年一月下旬に発送予定であることが了承されました。

### 記念事業の概要

#### ○記念式典

日時

平成二十九年

十一月二十三日(木・祝)

午前十時～十二時

#### ○校舎見学会

会場 八軒中体育館

午後十二時半～十三時半

#### ○記念祝賀会

午後四時～六時

#### ○記念誌「八軒」発行

会場 パレスへいあん

会費 六千円

記念事業実行委員会

仙台市立八軒中学校新制七十周年(創立八十二周年)記念事業実行委員会は、平成二十七年十一月二十一日の第一回実行委員会をスタートとして、平成二十八年度に入り、四月(第二回)、八月(第三回)、平成二十九年一月(第四回)と回数を重ね、準備を進めてきました。

並行して、総務部、式典部、祝賀会部、記念誌編集部において、それぞれ事業の具体化を図りました。

総務部では、記念式典・祝賀会のご案内、協賛金趣意書、広告依頼書の作成を進め、平成二十九年一月下旬にまず同窓生の皆様にお送りしたところです。今後は保護者や町内会に対してご協力をお願いしていくこととなります。

式典部では、記念講演や記念演奏について検討を進めています。

祝賀会部では、会場となるパレスへいあんとの打ち合わせを重ねています。

記念誌編集部では、新制五十年以降の二十年間の資料の確認、データの整理、この二十年間の卒業生や歴代の校長先生、PTA会長などの寄稿依頼者の選定と依頼の作業を進めています。記念誌は新制七十年(創立八十二年)の記録、「四つ葉」(生徒会誌)、「睦」(PTA誌)、「私の八軒時代」(同窓会誌)、協賛広告で構成します。

同窓生の皆様におかれては、「私の八軒時代」への寄稿をよろしくお願いいたします。

新しい仲間

平成二十七年度(第六十九回)八軒中同窓会入会式は、平成二十八年三月十日に行われ、男子八十五名、女子七十三名の計被百五十八名を、新たに同窓会に迎えました。

当日は、先輩として第十五回生で同窓会副会長の飯沼恒一さんから「餞のことば」が贈られました。

同期が集えば(一)

第十九回生(昭和四十一年卒)

八軒中昭和四十一年卒業生の同期会は41四つ葉会として、四年に一度オリンピックの年に開催されるようになって今回で第六回を数えます。

今回は平成二十八年九月一日(日曜日)、ホテルレオパレス仙台で開催され、恩師一名、同期生六十五名が参加しました。

恩師の佐々木八郎先生には、ご無理を申し上げて参加していただき、やや長めのスピーチを頂戴しました。

その後は和気藹々の酒宴となりましたが、六十五〜六十六歳でするので物故された同期生や孫の話など、お互いに年を感じさせる会でした。

中途伊藤久典君と伊藤真一郎君のバンド演奏があり宴会に華を添

えました。世話人の岡本、真壁両君の見事な運営で今年の同期会もスムーズに二次会まで盛り上がりましたが、次回の東京オリンピックの年でこの会も打ち止めということになりました。

(今野 喜郎)



第6回八軒41四ツ葉会同期会 於・ホテルレオパレス仙台 平成28年9月18日(日曜日)

## 同期が集えば(二)

## 第十三回生(昭和三十五年卒)

我々が卒業した昭和三十五年は「クレジットカード誕生」、「ピンク公衆電話登場」そして

「家付きカー付きババア抜き」が結婚の条件であった。平均寿命も今や男六十五→八十一歳、女七十→八十七歳と大幅に延び、元氣な准高齢者となった。

下手なゴルフに熱中する者(あつ、俺のことか)、ナイスバディを披露し泳ぐ人、さすらいのゲートボーラー・雀士、野菜作りに励む人、ミック・ジャガーに負けじと子作りに専念する人、終活の準備をする人、個性豊かな人種三十七名の参加を得て、平成二十八年四月「つきだてや」にて同期会を実施。いずれも花見より、酒・酒・酒!話の話題は医者通い、孫のこと等、最近のことは直ぐに忘れるが、中学・高校のことは鮮明に覚えており、話すこと、話すこと。楽しいひとときでした。今年「酉」年、添えるのは「さんずい」に限る(酒)。記

念すべき同窓会が十一月に開催される、再会を約束し散会となる。

(蛇足)「自分史」を書くのもよいかも! (庄司 茂雄)

## 第十五回生(昭和三十七年卒)

古希を迎えた私達第十五回生  
—昭和三十七年卒が

思い出を深め合った集い—

平成二十八年六月五日(日)、私達は、笠原武文先生、飯淵みさを先生をお招きし、総勢二十四名の古希の祝いを兼ねての同期会を催しました。会場はいっもお世話になっていきます「割烹つきだてや」です。お酒でのを潤しながら、美味しいご馳走をいただき、お二人の先生を中心に昔話に花が咲き、あゝこいうだと言いながらのあつという間の所定の時間、このような時間のたつのは本当にはやいものです。

忘却の彼方に沈みつたあつた中学時代が、会話を交わすうちに輪郭がはつきりしてきます。八軒中学校周辺の様子もすっかり変わってしまいました。文



青春の輝きの時代の思い出を深め合いました

具屋さんの相沢商店、しまかげキャンデー屋さん等と実名が飛び交ったり、夏の暑い日、校庭の片隅にあった井戸ポンプで飲んだ水の美味しかったことを、ポンプのガツチャンガツチャンと音声入りで語られただけで、皆の共通思い出だけに、うねるように座は盛り上がるのです。お互いの呼び方も昔返りです。男性同士は呼び捨てです。女性が男性に対しては〇〇君、男性

は女性に対して〇〇ちゃん、〇〇さんと少し複雑なようです。

私は女性の立場で申しますと、子育てに忙しく無我夢中で過ごしている頃は過去を振り返る暇なく、ましてや夫が転勤族という事情もあり、中学校時代を思い出す心の余裕などありませんでした。今、古希を迎える頃になつて、特に中学校時代の同期の皆さんとの交流がとても大切でかけがえのないものであることに気付かされています。

あれから五十四年、古希を迎えた六月の集い、「八軒中学時代」はキラキラときらめく青春の輝いた時代であったことを、二十四名それぞれに再確認されたものと思います。

当会は飯沼恒一さんが会長です。時に放たれるダジャレはすばらしく、彼の人柄が扇の要となつて結束しています。七十歳を越えるのは稀どころか、これからは長い旅が始まります。会長を中心に、青春の輝きの時代を懐かしみながら心しなやかに歩みたいものです。

(三島(旧姓・坂井)喜久子)

いぬこやう(1)

節目の年に輝く同窓生

校長 石川 一博



同窓会員の皆様には、日頃より本校の教育に対しましてご理解ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度は、本校が昭和十年に八軒小路高等小学校として創立八十二年、昭和二十二年に新制中学校に生まれ変わって七十周年を迎えました。このような記念すべき時に赴任いたしましたことは、たいへん光栄なことであり、身の引き締まる思いであります。現在は、今年十一月二十三日に開催される七十周年事業に向けて、同窓会の方々を中心に実行委員会の開催を重ねていただいております。同窓生の皆様の熱心に意見を交されて

いる様子を拝見し、本校に対する熱い思いと、この地域の深い絆を強く感じております。

今年度の生徒数は、一年生一三四名、二年生一二二名、三年生一二九名、計三八五名。全国中学校剣道大会で男子個人ベスト8入りを果たした生徒をはじめ、スポーツ面、文化面で素晴らしい成績を残しております。

さて、平成二十九年は、本校同窓生村山謙太、絃太兄弟の大活躍で年が明けました。実業団駅伝日本一を決定する「全日本実業団対抗駅伝競走大会」での激走です。人の生き方を象徴するがごとく、映し出される光景に感動を味わいました。弟の絃太選手は一区の終盤までトップ集団を引っ張りました。また、兄の謙太選手は、五区区間賞の快走でチームを十八年ぶりの優勝に導く大活躍でした。

弟の絃太選手には、昨年リオデジャネイロオリンピックに出場する直前に本校体育館でのオリンピック壮行会に出席いただき、世界の舞台での挑戦や目的を持った生き方についてお話を

聞きました。困難を乗り越えて成し遂げようとする不屈の精神、陸上一万Mの日本記録保持者となっても決しておごらず謙虚に懸命に努力する姿勢など在校生の心に大切なことを刻んでいたできました。八軒生も先輩に学び「夢」や「志」を持ち、自らを高め続けようとする態度や健康、体力を培ってほしいと思います。東京オリンピックを目指している二人。今後の更なる活躍を楽しみに応援していきたいと思っております。

今年も地域に輝き・誇れる学校を目指して、教職員一同、力を合わせて着実に前進してまいります。同窓会の皆様のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

在校生の活躍ぶり(一)

《運動部》

第六十五回

仙台市中学校総合体育大会

① 陸上

男子 共通八百M 六位  
共通砲丸投げ 六位

女子 共通四×百Mリレー 七位

低学年四×百Mリレー 三位

共通百Mハードル 一位、七位

一年千五百M 五位

総合 八位

② 剣道

男子 個人 一位、二位、三位

③ サッカー 一位

④ 野球 一位



たくさん入賞を果たした陸上



全校応援で野球優勝

いぬこや(11)

同窓会雑感

仙台市立八軒中学校

教諭 鈴木 泰



私が四十歳になった頃、わずか一ヶ月ほどの間に、中学校、高等学校、大学の三つの同窓会が開かれたことがありました。

中学校の同窓会は、同級生の一人が地元で講演会をするのにあわせて開かれました。ほとんどの参加者は二十数年ぶりに会いましたが、昔を懐かしく振り返りながら懐かしく懇談しました。当時担任だった先生方ももうすぐ定年だということ、月日がたつ早さを感じました。同級生の中に孫がいる者が三名いることに驚きました。

高校の同窓会は残念ながら日程が合わず参加できませんでしたが、多くの参加者があり大盛況

だったと聞きました。

大学の同窓会は、ゼミの教授の退官を祝って行われたものでたいへん盛大なものでした。私の同級生だけではなく、何世代もの同窓生が集まりたいへん賑やかな会でした。私の同級生の中には有名な落語家の奥さんになった方がいて彼女の和服姿が今も印象に残っています。

また、教員という職業柄教職員の同窓会に呼んでもらう機会も多く、毎年のように開かれる会を楽しみにしています。

初任地の気仙沼の中学校の生徒からは、二十歳を祝う会に招かれて以来、厄払いを兼ねた同窓会などに度々招待してもらいました。

最近では私が三十二歳頃だったときに担任した生徒が三十二歳になったときに開いた同窓会に参加しました。それも異なる二つの中学校の生徒が同時期に招待してくれました。

市の南部にある中学校は、とても元気のある生徒が多く苦勞もありましたが、初めて担任として卒業生を送り出したので思

い入れがありました。同窓会に

参加すると、五十人ほどの大人になった教え子が次々と話しかけてくれ楽しい時を過ごしました。「私が担任をしていたときの年齢と君たちの今の年齢は同じだよ」と言う。「三十二歳はもっと大人だった感じがした」という返答が多くありました。

市の北部にある中学校も元気のある生徒が多く、私も教員として多くのことを学ばせてもらいました。担任をしていたクラスの子が結婚したのを機に、十人ほどのメンバーが集まりました。全員が既婚者でありすっかり落ち着いた雰囲気でした。それぞれが様々な経験をし、頼もしくなっていました。

八軒中学校に赴任して約一年が経ちます。中でも驚いたのは同窓会が活発なことです。六十歳以上も年の離れた皆様が、生き生きと活動されている姿を見てたいへん羨ましく思いました。これからも皆様にはいろいろと教えていただくことがあると思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

在校生の活躍ぶり(二)

《運動部》

第六十五回

宮城県中学校総合体育大会

① 陸上

- 男子 砲丸投げ 八位
- 女子 四×百Mリレー 五位
- 百Mハードル 一位、三位

総合

- ② 剣道 五位
- 男子 個人 二位

東北中学校陸上大会

- 女子 百Mハードル 八位

東北中学校剣道大会

- 男子 個人 五位

《文化部》

① 吹奏楽

- ・第三十一回宮城県管打楽器ソロコンテスト 金賞
- ・全日本吹奏楽コンクール

- 第五十九回宮城県大会予選

- 仙台太白・宮城野・若林地区大会 金賞

- ・全日本吹奏楽コンクール 第五十九回宮城県大会 金賞
- ・全日本アンサンブルコンテスト 第五十回宮城県大会予選仙台若林地区大会 銀賞
- ・管打楽器五重奏 金賞
- ・管打楽器七重奏 銀賞
- ② 合唱
- ・第八十二回NHK全国学校音楽コンクール 宮城県コンクール大会 奨励賞
- ・第六十七回全日本合唱コンクール宮城県大会 銀賞
- ・TBCこども音楽コンクール 宮城地区大会 優秀賞
- 合唱の部 優秀賞
- 重唱の部 優秀賞
- ・TBCこども音楽コンクール 東北決勝大会 優秀賞
- 合唱の部 優秀賞
- 重唱の部 優良
- 《その他》
- ・仙台市小中学校児童生徒読書感想文コンクール 奨励賞
- ・第八十四回全国書画展覧会 金賞
- 書の部



校内合唱祭のフィナーレは全員合唱  
「明日という日が」

- ・第七十回宮城県小中学校児童生徒書きぞめ展覧会 毛筆 金賞
- 硬筆 特選、金賞
- ・第五十四回宮城県造形教育作品展 わかば学級 入選
- ・第四十七回「私たちの作品展」わかば学級 優秀賞

《主な学校行事》

- ・入学式 四月九日
- ・三年生 修学旅行 東京 五月二十五日～二十七日
- ・二年生 野外活動 久慈 五月二十六日～二十八日
- ・陸上カーニバル 五月十三日
- ・校内合唱祭 七月六日

- ・文化発表会 九月三日
- ・八軒中学校区総合防災訓練 十月二十二日
- ・一年生 球技大会 十一月十五日
- ・二年生 職場体験活動 十一月十五～十七日
- ・三年生 幼稚園実習 十一月十七～十八日
- ・同窓会入会式 三月十日
- ・卒業式 三月十二日

※ 写真は八軒中ホームページから転用しました。

同期が集えば(三)

- 第十八回生(昭和四十年卒)
- 平成二十八年も例年通り、年三回のゴルフコンペと納涼会・忘年会を開催致しました。左記ご報告します。
- 四月十日 ゴルフ 十三名参加
- マグノリアアカントリークラブ
- 七月二十四日 ゴルフ 十五名参加
- マグノリアアカントリークラブ

- 七月三十日 納涼会 伊達の牛タン 十九名参加
- 十月二十三日 ゴルフ 十三名参加
- マグノリアアカントリークラブ
- 十二月十日 忘年会 伊達の牛タン 三十三名参加

(影山信二先生ご参加)



平成二十九年は四月二日(日)に仙台南ゴルフ倶楽部にてコンペを予定しております。新たにご参加希望の方は、直野苑ご連絡下さい。

(090-9386-1746)

また、同期会総会を、五月六日(土)十七時から仙台駅東口にあるガーデンパレスホテルにて開催致します。ご案内はがきは二月末に発送予定です。奮ってのご参加をお待ちしております。

(直野 まり)

## 同期が集えば(四)

## 第十七回生(昭和三十九年卒)

第九回四ツ葉三九会総会は、平成二十八年十月一日(土)に松島の新富亭「こころの湯」を会場に開催されました。参加者は二十八名、恩師は笠原先生にご参加いただきました。昨年参加の今立先生がご逝去され、皆で黙祷を捧げました。

笠原先生からは、「天寿に至る健康の道」についてお話をいただきました。

今年も仙台真田家第十四代ご当主真田徹氏にミニ講演をしていただき、NHK大河ドラマの「真田丸」にまつわる歴史秘話を拝聴することができました。

また、ガッツおじさんこと、「たいこ茶屋」大将・嵯峨完氏からは、四十回を超える被災地でのマグロ解体ショーの様子を伺うことができました。

我々四ツ葉三九会一同、仙台真田家とたいこ茶屋を盛り上げることに「八軒中七十周年記念事業」に協力することを約束して散会しました。同窓会の皆様

方にも、応援を宜しくお願い申し上げます。

追記 五月に「たいこ茶屋」主催の被災地復興支援ツアーである「大相撲観戦とたいこ茶屋ライブ」に三九会からも十数名が参加し、大いに楽しんできました。(安達 和則)

## 第二十九回生(昭和五十一年卒)

これからは毎年の開催へ平成二十九年二月十一日、仙台市本町家具の町にあるライブドーム「スターダスト」で四年前ぶりに同期会を開催し、三十人が集まりました。

準備期間が年末年始に重なり、十分な案内やお誘いの声をかけられず、従来に比べ参加者が少なく残念でしたが、大阪や千葉、埼玉などからも参加があり、盛り上げてもらいました。

参加者全員から、近況報告をしてもらい、校長先生になった人や脱サラして農業をしている人、すでに現役をリタイアして第二の職場で働いている人、離婚した人、再婚した人、親の介護で大変な人など：様々な五十

六歳、働き盛りです。すでに亡くなっている(ことがわかってい)る(十一名にも黙とうをささげ、思い出をしのびました。

四年の間に、住所が変わった人も結構おり、これからは毎年集まることにしました。今回は厳寒期で、インフルエンザが流行っている折でもあり、恩師にはご案内を遠慮いたしました。十一月の創立七十周年記念祝賀会や次回は必ず案内し、恩師と再会することも楽しみにしています。

七十周年記念式典や祝賀会への参加よびかけも行い、記念誌への協賛広告を同期会として出すことも確認されました。

校歌を歌い、エールを交換し二時間が瞬く間に終わりました。そのまま、その場で二次会をおこない、ほとんどの人が残り、



ライブドームで校歌斉唱

カラオケや歓談を楽しみました。その後、二手に分かれて三次会、四次会まで行ったグループもありました。

次回の日程はまだ、決まっていませんが、もう少し暖かい時期に行おうと準備スタッフで話しあっています。

(福島 一恵)

※ このほか、平成二十八年度には、二十三回、二十七回、四十一回、六十回の各回生で同期会、クラス会が開催されています。

※ 掲載に当たり執筆者の敬称は略させていただきました。

八軒つうしん第十二号  
発行日

平成二十九(二〇一七)年  
三月四日発行

発行者 八軒中同窓会事務局  
〒九八四一〇八二七

仙台市若林区南小泉  
字八軒小路九一  
仙台市立八軒中学校気付